

\triangle A3HG56-FR01KK-E1-E2D-
 軸端形状: 平行キー形

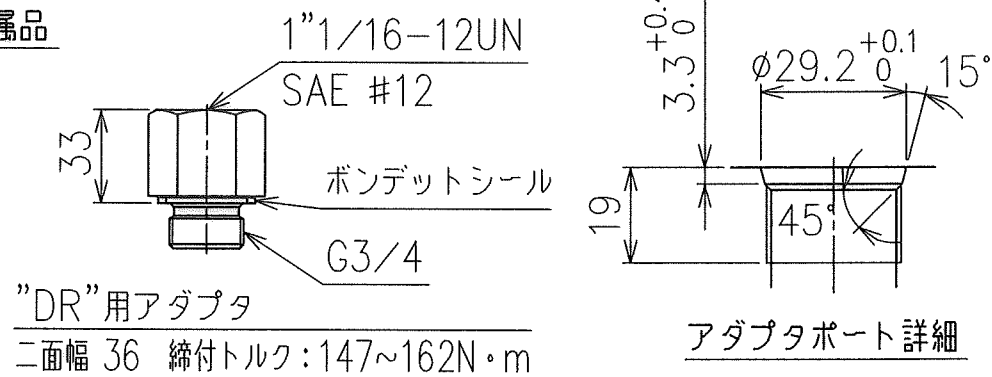
ポンプ取付フランジ: ISO 3019-2準拠
 接続ポート: メトリック
 管フランジねじ: メトリック

質量: 32.5kg 尺度: 1/4

塚田 9/11 6/16 6/16 P17-062 P14-032 X4 X1 SYM	DATE	12-12-03	DRAWN	安田	YUKEN KOGYO CO., LTD. MODEL NO. \triangle A3HG56-FR01K*-E1-E2D-10 NAME A3HG56形 可変ピストンポンプ 圧力コンペンセータ制御 DWG NO. PA315503-3-2 \triangle (1/6)
	APPROVED	北村	CHECKED	林	
	THIRD ANGLE PROJECTION	三角法			
	FILE NO.	2282			

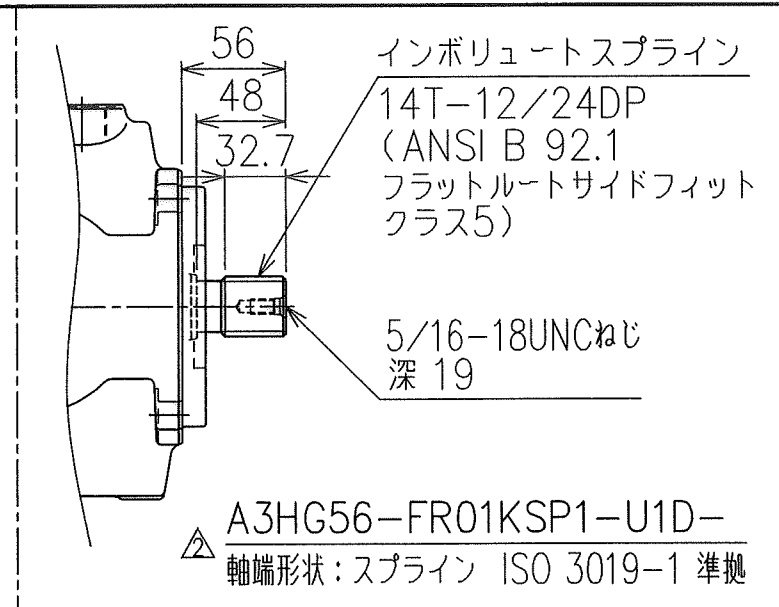
1) 管フランジ取付け面は SAE J 518 4ボルトスプリットフランジに準拠します。
 2) ドレンポート"DR"は ISO 9974-1 メートルねじポートに準拠します。

付属品

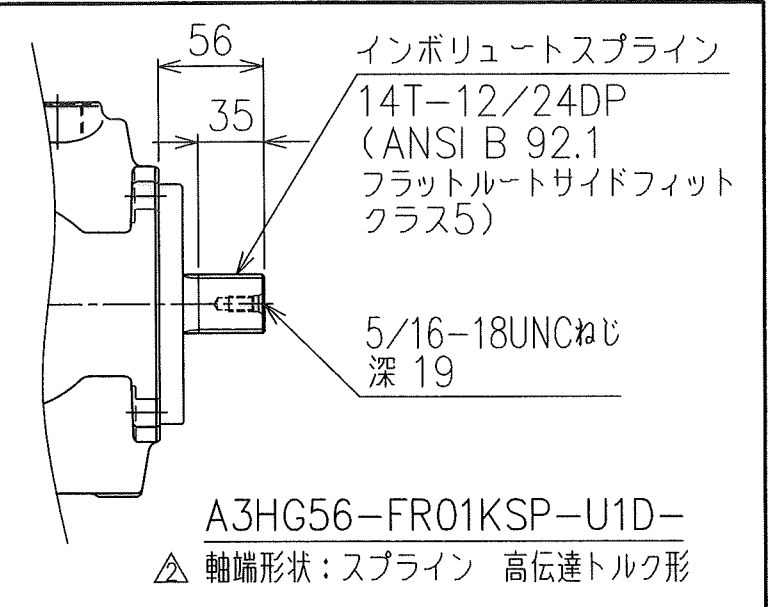


"DR"用アダプタ
二面幅 36 締付トルク:147~162N・m

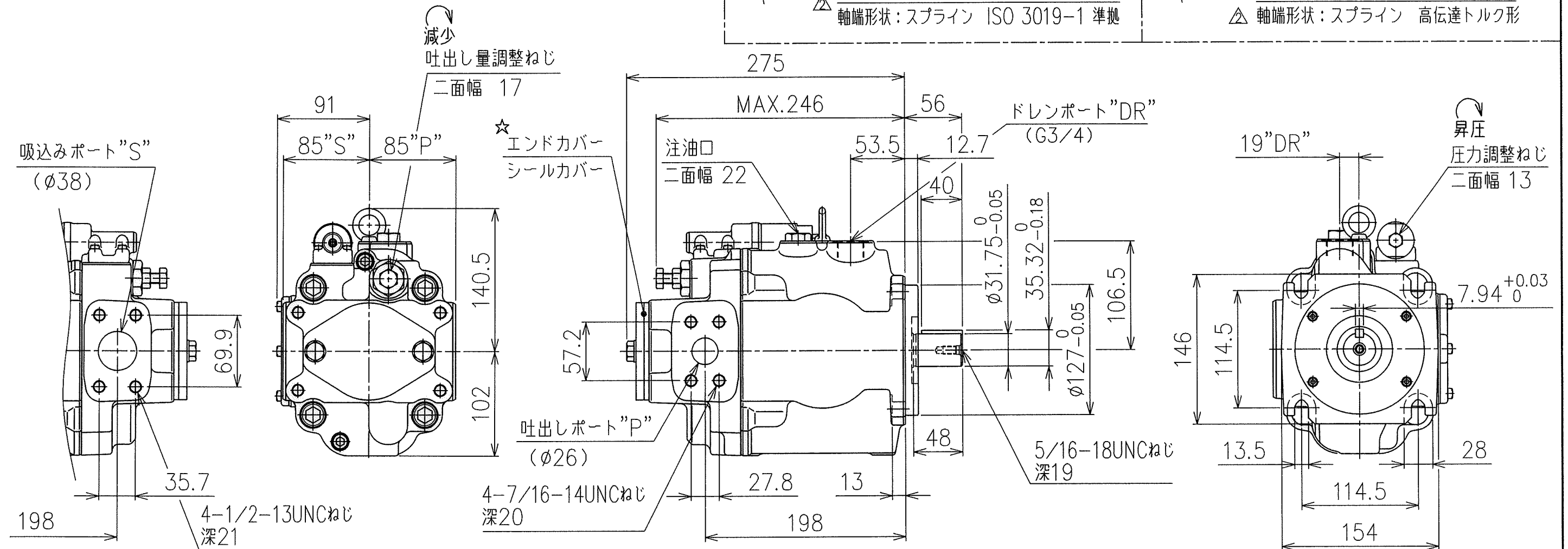
アダプタポート詳細



A3HG56-FR01KSP1-U1D-
軸端形状:スプライン ISO 3019-1 準拠



A3HG56-FR01KSP-U1D-
△ 軸端形状:スプライン 高伝達トルク形



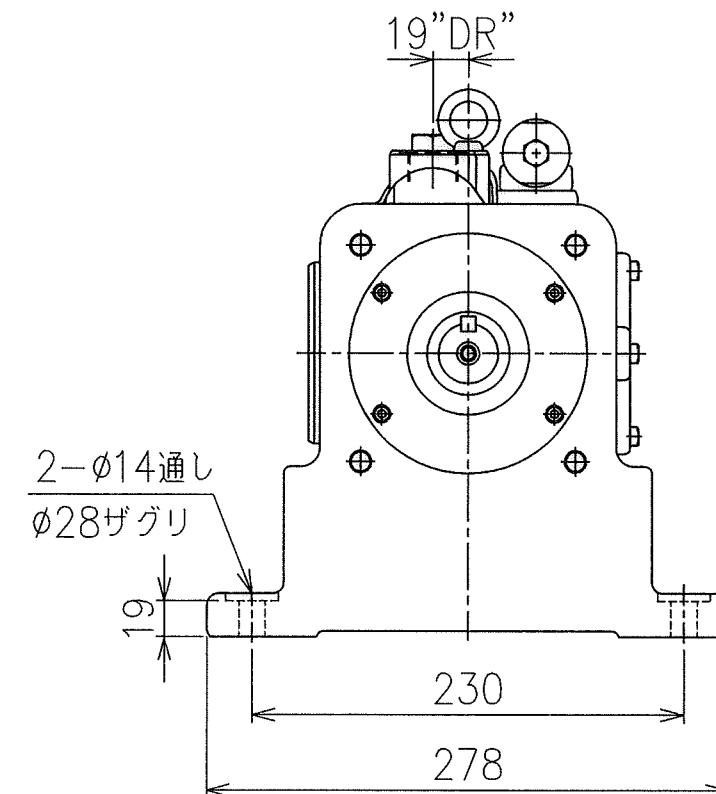
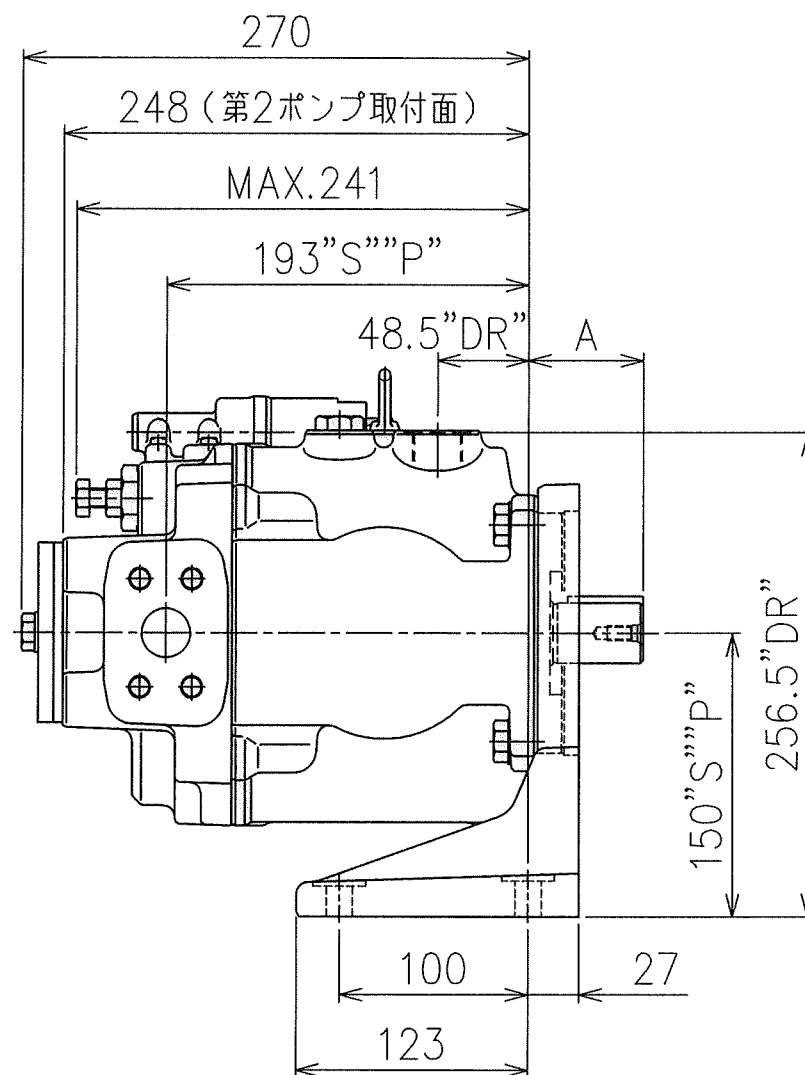
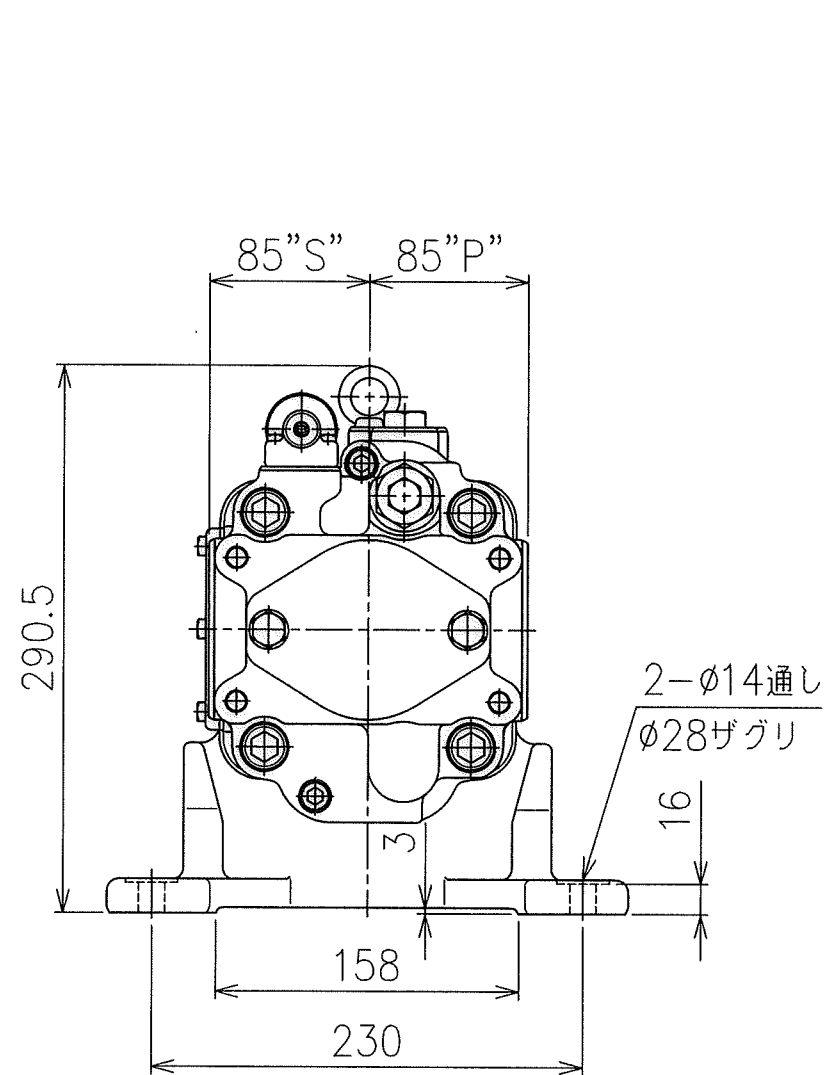
A3HG56-FR01KK-U1D-
軸端形状:平行キー形

ポンプ取付フランジ:ISO 3019-1 準拠
接続ポート:ユニファイ
管フランジねじ:ユニファイ

質量:32.5kg 尺度:1/4

- 1) 管フランジ取付け面は SAE J 518 4ボルトスプリットフランジに準拠します。
- 2) "DR"用アダプタのポートはSAE J 514 Oリングシール形に準拠します。

塚田 林 P17-0629/11 P14-0326/16 X3 X1	DATE	DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD. MODEL NO. A3HG56-FR01K*-U1D-10 NAME A3HG56形 可変ピストンポンプ 圧力コンペンセータ制御 DWG NO. PA315503-3-2 △(2/6)
	APPROVED	CHECKED	
	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION FILE NO. 2282	DWG NO.	



A3HG56-LR01K*-*D-
フート取付形

TABLE

	モデル番号	寸法"A"
△	A3HG56-LR01KK-E ₁ D- E ₂ D-	65
△	A3HG56-LR01K ^{SP} _{SP1} -E ₁ D- E ₂ D-	61
	A3HG56-LR01K* ^{U1} -U ₂ D- J ₁	61

ポート寸法、取付ネジサイズは1~3頁(フランジ取付形)をご参照ください。

質量: 40kg 尺度: 1/4

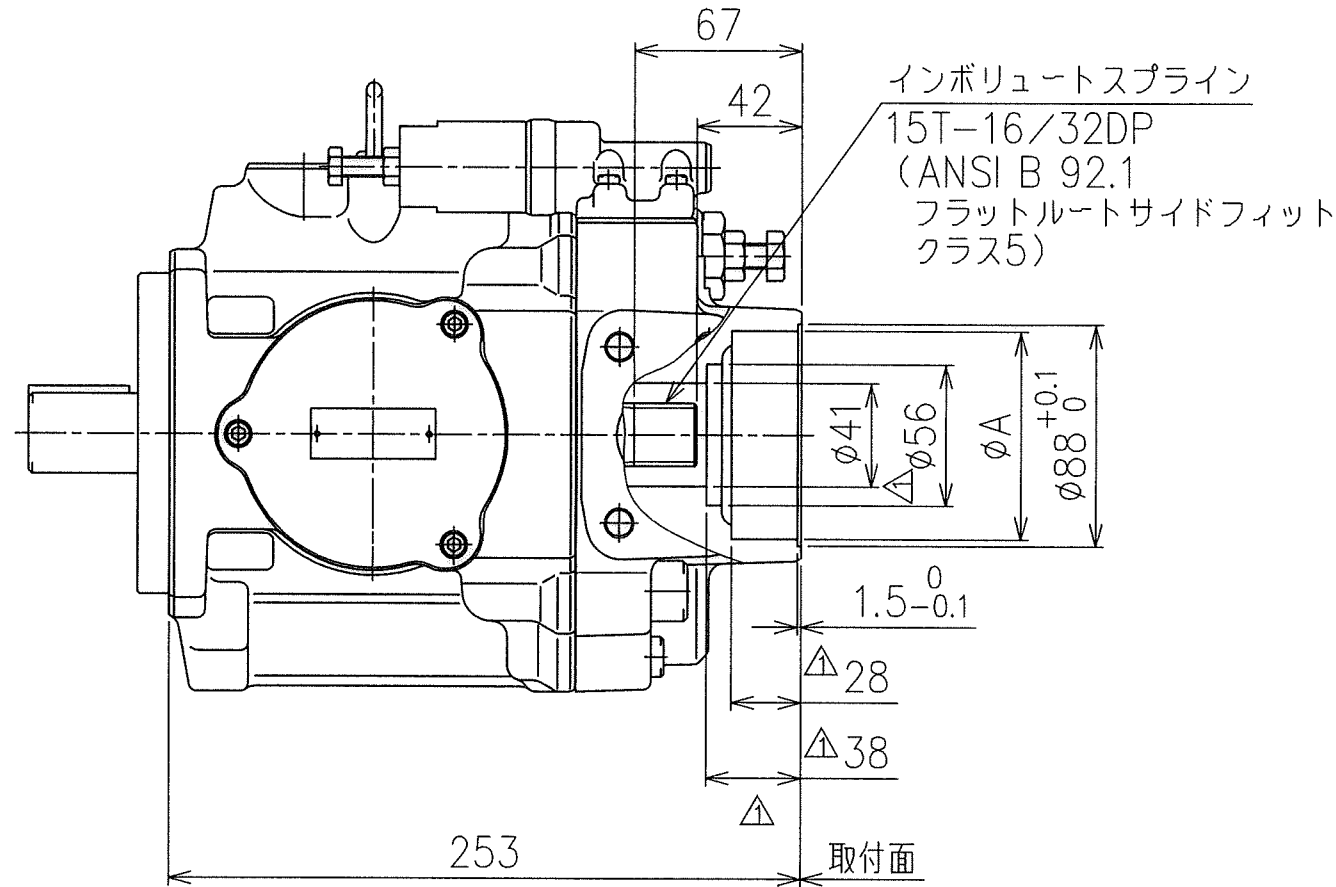
塚田 P17-062 9/11 SYM	DATE	DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.
	APPROVED	CHECKED	
	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		NAME A3HG56形 可変ピストンポンプ 圧力コンペンセータ制御
	FILE NO. 2282	DWG NO. PA315503-3-1	(4/6)

第2ポンプ取付けについて

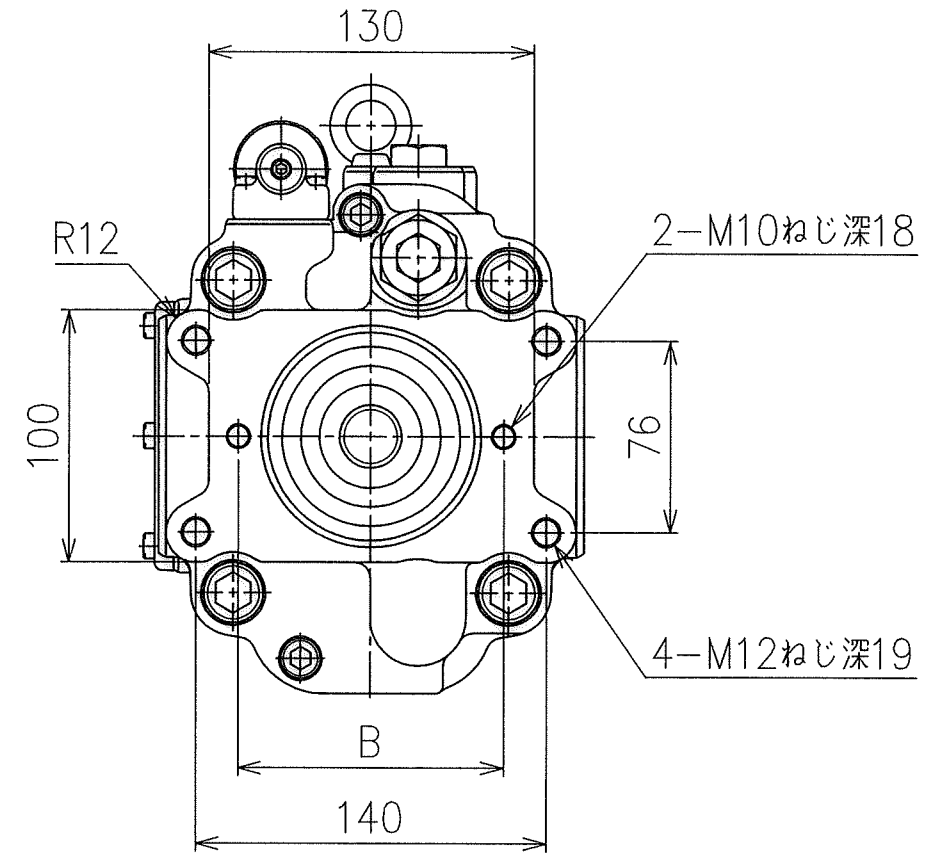
本ポンプモデルに対し、第2ポンプとして下記フランジ型式のポンプが直接取付られます。

△モデル”E1”：80-2 (ISO 3019-2) モデル”E2””U1””U2””J1”：82-2 (ISO 3019-1)

※上記以外のフランジ型式のポンプを取付ける場合、別途アダプタが必要になります。



1. ☆印部品（エンドカバー、シールカバー：1～3ページ参照）を取り外す。
2. シールカバー付属のOリングを第2ポンプのインローボス部に挿入する。
3. カップリング、アダプタ等を別途用意し、第2ポンプを取り付けてください。



モデル番号	寸法 "A"	寸法 "B"
A3HG56- *R01K* -E1D-	$\phi 80^{+0.076}_{+0.030}$	109
△ A3HG56- *R01K* - $\begin{matrix} E2 \\ U1 \\ U2 \\ J1 \end{matrix}$ D-	$\phi 82.55^{+0.090}_{+0.036}$	106

△ 合計軸トルクについて

△ 下記計算式を参考にして、各ポンプの軸トルクは下記範囲内としてください。但し、下記範囲内であっても、各ポンプの仕様（最高使用圧力等）を超えない様にしてください。

A3HG56- *R01KK- $\begin{matrix} E1 \\ E2 \end{matrix}$ D-	A3HG56- *R01KK- $\begin{matrix} U1 \\ U2 \\ J1 \end{matrix}$ D-
$\frac{T_1}{\text{メインポンプ}} + \frac{T_2}{\text{第2ポンプ}} \leq 451 \text{ (N}\cdot\text{m)}$ 且つ $T_2 \leq 297 \text{ (N}\cdot\text{m)}$	$\frac{T_1}{\text{メインポンプ}} + \frac{T_2}{\text{第2ポンプ}} \leq 528 \text{ (N}\cdot\text{m)}$ 且つ $T_2 \leq 297 \text{ (N}\cdot\text{m)}$
A3HG56- *R01KSP- *D-	A3HG56- *R01KSP1- *D-
$\frac{T_1}{\text{メインポンプ}} + \frac{T_2}{\text{第2ポンプ}} \leq 801 \text{ (N}\cdot\text{m)}$ 且つ $T_2 \leq 297 \text{ (N}\cdot\text{m)}$	$\frac{T_1}{\text{メインポンプ}} + \frac{T_2}{\text{第2ポンプ}} \leq 783 \text{ (N}\cdot\text{m)}$ 且つ $T_2 \leq 297 \text{ (N}\cdot\text{m)}$

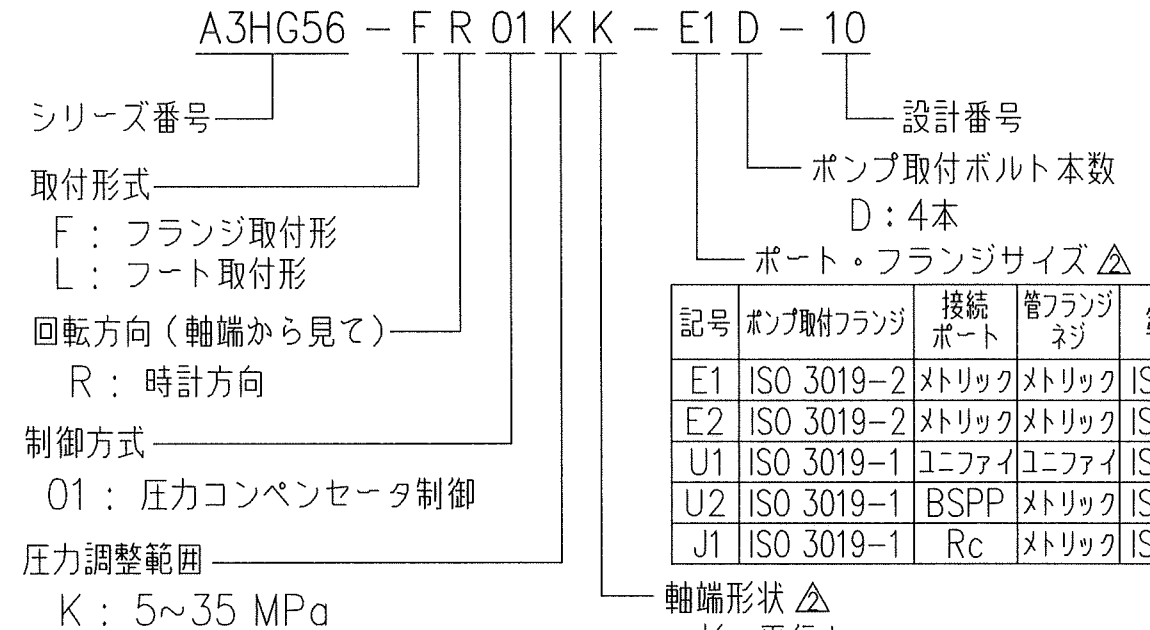
尺度：1/3

10 D		
塚田 稔 稔 9/11 6/16 5/8 P17-062 P14-032 P13-015 X3 X3 X5 △X3 △X3 △X5 SYM REVISIONS DATE SIGN	DATE DRAWN APPROVED CHECKED 三角法 THIRD ANGLE PROJECTION FILE NO. 2282	YUKEN KOGYO CO., LTD. MODEL NO. NAME DWG NO. PA315503-3-3 △(5/6)

使用上の注意

- ポンプは注油口の位置が上になるように据付けてください。
- 軸接続の際はフレキシブルカップリングを使用し、軸には曲げ荷重およびスラスト荷重がかからないようにしてください。（直接歯車やベルトで駆動しないでください。）なお、駆動軸とのズレが TIR: 0.1mm、角度誤差 0.2° を超えないようにしてください。
- 吸込み圧力はポンプの入り口にて 600~1800r/min以下の場合は-16.7kPa~+50kPa、1800r/minを超える場合は0kPa~+50kPaにしてください。
- 鋼管配管の場合、配管によりポンプに無理な力がかからないように注意してください。
- ドレン配管は下記を目安にして、他の戻りラインと合流せずに単独で行い、端末を必ず油中に入れてください。
 配管継手サイズ △ E1,E2:M27×2 U1:1"1/16-12UN
 U2:G3/4 J1:R3/4
 (内径16 以上)
 配管内径 19 以上
 配管長さ 1 m以下
 上記条件を満足しない場合でもハウジング内圧力が定常状態圧力0.1MPa以下、かつサージ圧力0.5MPa以下になるようにしてください。
- 作動油の汚染管理には十分注意を払い、汚染度はJIS B 9933 (ISO 4406) 20/18/14 または NAS 9級以内にしてください。
 なお、吸込みラインには 100μm (150 メッシュ) のフィルタを、吐出しラインまたは戻りラインには 10μm以下のフィルタをご使用ください。
- ポンプ初期運転前には必ず注油口から作動油をハウジング内に充填してください。
 なお、運転開始時には吐出しラインを無負荷にしてポンプを始動し、正常に油を吸込むことを確認してください。
- ポンプ内部および管路内に空気が混入していると振動発生の原因になりますので、空気抜きは完全に行ってください。
- ポンプを油面より上部に設置する場合は、吸込みラインの空気だまりを防止するため、吸込み配管およびサクションラインフィルタはポンプのポートより高くしないでください。
 なお、吸込み側の配管は適合する管フランジの口径そのものを使用し、吸込みポートの高さは油面から1m以内にしてください。
- 吐出しラインを急激にブロックすると、ポンプがフルカットオフするまでに吐出される流量によりサージ圧力が発生します。回路中の機器、配管等を破損する恐れがあるため、外部に必ず安全弁を設置してください。

△ モデル番号の構成



記号	ポンプ取付フランジ	接続ポート	管フランジネジ	第2ポンプ取付
E1	ISO 3019-2	メトリック	メトリック	ISO 3019-2
E2	ISO 3019-2	メトリック	メトリック	ISO 3019-1
U1	ISO 3019-1	ユニファイ	ユニファイ	ISO 3019-1
U2	ISO 3019-1	BSP	メトリック	ISO 3019-1
J1	ISO 3019-1	Rc	メトリック	ISO 3019-1

軸端形状 △
 K: 平行キー
 SP: スプライン 高伝達トルク形
 SP1: スプライン ISO 3019-1 準拠

定格

理論押しのけ容積	56.3	cm ³ /rev
最高使用圧力	35	MPa
定格圧力	31.5	MPa
回転速度範囲	600~2500	r/min
最小調整流量	35	cm ³ /rev

使用油

ISO VG 32 または 46 相当の石油系作動油

粘度範囲

20~400 mm²/s

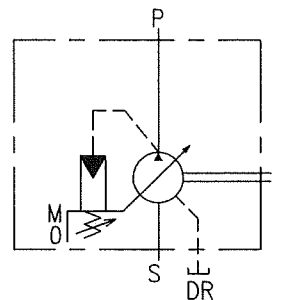
油温範囲

0~60 °C
 ただし、上記 粘度範囲にご注意ください。

特記事項

シール部品材質: FKM

油圧図記号



塚田 昇 9/11 P17-062 △x3 △x2	6/16 P14-032 △x2	SIGN DATE REVISIONS SYM	DATE	DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD. MODEL NO. NAME DWG NO. PA315503-3-2 △(6/6)
			APPROVED	CHECKED	
			三角法 THIRD ANGLE PROJECTION		
			FILE NO. 2282		